

オンライン英会話のニューノーマルを追究する スタディラボの新しいプロダクト

オンライン英会話市場は1000億円以上へ

マンツーマンのオンライン英会話OLECO、1対2のTRY-ANGLEに続き、新たに「GeT」をリリースされました。これまでのサービスと何が違うのでしょうか？



地福武史代表

地福 OLECOとTRY-ANGLEは、25分のレッスンで構成され、高校3年生まで使えるように設計しています。教材は全15冊を用意し、内容は、英検で言うと、準1級、CEFRのB2まで対応。民間検定への対応はもちろん、

入試にも対応できるように、文法中心にまとまっています。それに対して、GeTは15分のレッスンです。時間が短い分、インプットもアウトプットも短くなるので、英検対応をしていますが、学校の指導要領への対応を中心に据えています。



杉山拓央本部長

杉山 GeTの利点は、時間が15分で授業に組み込みやすいということ。1回790円という価格で、月に3〜4回使ってもらおうという販売の仕方もありますが、例えば、この夏は、30日パックみたいにして、毎日15分間、英語の発話をする時間を設ける。つまり、低

価格だからこそ、回数を上げるやり方も可能になります。

OLECOも通常の授業に組み込むことができたと思いますが、GeTではほかにどんなことができそうですか？

地福 OLECOを導入していたら、原則的にGeTも全部使えます。GeTユーザーは、GeTしか使えませんが、更に学びを深めたい時には、GeTは、OLECOと同じシステムを使っており、インターフェイスや操作感、基本的には変わらなず、スムーズに移行することができます。教師もフィリピンにある7拠点の直営会社に、数百を超える小学生から高校生を教えられる専属教師を揃えています。これは、GeTでも変わりません。ほかにも授業開始の30分前までキャンセルできる

仕組みなど、一般的なオンライン英会話にはできないような仕組みも同様です。

私は、オンライン英会話市場は1000億円以上になると考えていますが、オンライン英会話におけるニューノーマルは、自宅で学ぶ形をずっと続けるわけではなく、自宅と塾を行き来しながら学習ができるものになっていくと思います。その中で、GeTは利便性が高く、多くの教室で使っていただけではないでしょうか。

オンライン時代に不可欠な遠隔運営サービス

Zoomなどを使ったオンライン授業で、GeTを使う場合は、時間になったらプラットフォームを変える必要があるのでしょうか？

地福 そういうご利用が多いです。しかし、私たちの学習管理システム「ミルククラス」や「スタディコンパス」を使っていたら、OLECOやGe

かがわからないということも挙げられる方が多いです。これがクリアになれば、オンライン授業の可能性を広げられるのではないでしょうか。

地福 現在、スクールタクトのユーザーは約5万人ですが、年内には数十倍以上のユーザーになるのではないかと考えています。公教育の「GIGAスクール構想」とも連動していますし、NTTコミュニケーションズ「教育クラウドプラットフォーム」『まなびポケット』にも入っています。

その塾版であるスクールタクトfor塾は、学習塾の現場でより使いやすいようにカスタマイズしています。先日モニターとなったところ、2週間でおよそ1万3千人分のIDの登録があり、6月からはすでに数千人が有料登録に変わっています。こちらのプラットフォームの展開も今後さらに広がってほしいと考えています。

15分の完全マンツーマンレッスン



レッスンは毎回必ずマンツーマンで行われるため、生徒のレベルに合わせてレッスンを進めることができます。学習すべき内容に不安がある生徒には定着のための反復練習をしたり、レベルの高い生徒には学習した内容を先にアリートクにチャレンジしたりと、講師が一人ひとりのレベルに合わせて柔軟に対応します。さまざまな生徒のレベルに合わせて、基本的な学習項目はしっかり身につくようなレッスンを提供します。



Tをシームレスに使えますし、ほかの教科、例えば算数や理科の授業配信も可能になり、Zoomなどを使う必要もなくなり。

「ミルククラス」や「スタディコンパス」は、こういったプロダクトなのではないでしょうか？

地福 遠隔で学習管理をしていくLMS（ラーニング・マネジメントシステム）です。ミルククラスは、何千人、何万人の規

模で生徒がいても、授業動画の作成や配信、学習管理をしたり、プリントを格納したり、宿題を管理したりできます。

また、これを使えば、先生たちの初期研修やコミュニケーション講座などのeラーニングも自社で制作し、取り組んでもらえます。人材育成や会議などの社内コミュニケーションにも活用できます。

スタディコンパスは、オンライン個別指導に使えるもので、先生の映像と教材が双方向から書き込みも可能になり、インタラクティブな授業が可能になります。

これは両者一体のもので、この2つを学習塾の中で使っていたらモニター募集を始める予定です。

オンライン授業で生徒の手元が見える

これら以外にも提供を考えているプロダクトはありますか？

地福 学校向けのアクティブ・ラーニング用教材に、『schoolTakt（スクールタクト）』があるのですが、これを学習塾で使えるようにカスタマイズした『schoolTakt for塾』の提供を考えています。今回のように学校に行けなくなり、塾が止まってしまったときには、かなり利便性が高いものです。

オンラインで集団授業ができるということでしょうか？

地福 そうです。例えば、Zoomを使った指導では、その際に使った資料は、あとで共有するしかありませんが、スクールタクトを使えば、リアルタイムに手元で資料を動かせることができ、生徒全員の手元がどう動いているか、一人ひとり把握

することができません。もともと学校では、朝の会などにスクリーンタクトが使われていますし、国語にも対応できます。OLECOにも言えるのですが、画面の中で全ての教材が見え、書き込みができるので、オンライン授業の可能性を広げてくれます。

Zoomを使った授業の課題に、手元で何をやっている



ミルククラスはオンライン授業から学習管理までできるプラットフォームだ